



みやき町

こんにちは

議会

です。

2018. 6

No.43



秋の実りを願って懸命に…
(平成30年6月28日・三根東小学校)

目次

6月定例会	2~3
委員会の編成	4
一般質問	5~15
コラム	16~17
編集後記等	18

スマートフォンやタブレット端末でインターネット議会中継を視聴できます。

みやき町議会中継

検索



スマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますので特にご注意ください。

平成30年 第2回(6月)定例会報告

会 期	平成30年6月4日(月)～6月11日(月)
議 案	町提出：15議案／議会提出：4件

平成30年度みやき町一般会計補正予算(第1号)【可決】

4億4,207万7千円を追加し 総額**135億1,345万9千円**に。

<主な一般会計補正歳出予算>

	項 目	補正額	説 明
1	千栗土居公園整備事業費	4,910万8千円	【市原区】蓮生溜池の一部と一体化した町営公園整備事業費
2	コミュニティ助成事業費	1,500万円	【中津隈東区】(財)全国自治宝くじセンターによる公民館新築補助金
3	肥前さが幕末維新博「みやき町」イベント事業費	135万8千円	明治維新150年記念事業 「みやき町の日」事業 8月19日(日)予定
4	保育所等施設整備補助金	2億2,793万円	保育所施設整備補助 三根みどり保育園 さくらの杜保育園
5	小規模保育施設整備工事費	4,192万9千円	保育所施設整備工事費 風の子保育園
6	保育園施設備品購入費	288万4千円	保育所施設整備に伴う備品購入
7	インフルエンザ予防接種	471万5千円	医師委託料

<平成30年度みやき町特別会計補正予算関係>【全議案 可決】

内 容	補正額	補正後の総額	説 明
下水道事業特別会計	404万2千円	23億4,212万4千円	4月の人事異動による人件費調整
ふるさと寄附金基金特別会計	28億5,875万3千円	130億6,105万3千円	(歳入)ふるさと寄附金を15億円増額して、見込み総額65億円とする。 (歳出)寄附金受領経費や一般会計の保育所整備財源等への繰出金に充当など

＜主な議案【全議案 可決】＞

1	専決処分の承認	みやき町税条例の一部を改正する条例
	【内容】 地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、町民税、固定資産税、特別土地保有税など条文の改正	
2	専決処分の承認	みやき町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	【内容】 地方税法施行令等の一部を改正する政令等が公布されたことに伴い、基礎課税分の課税限度額を引き上げ、国民健康保険税の軽減判定基準を拡充するもの	
3	条例の改正	みやき町税条例の一部を改正する条例
	【内容】 生産性向上特別措置法に該当する固定資産税を3年間に限り、課税標準の特例割合をゼロとするもの	
4	条例の改正	みやき町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
	【内容】 任期付職員の給与について、現在の単一給での運用を、総務省通知に基づき、常勤職員に適用される行政職給料表による運用に改正するもの	
5	工事請負契約	平成30年度 中原小学校給食室改修工事
	指名競争入札： 契約の相手方：鳥栖市 株式会社 栗山建設 請負金額：8,208万円（含消費税） 工期：H 30.6.11～H 30.10.12	
6	物品売買契約	平成30年度 中原小学校給食室厨房機器更新事業
	指名競争入札： 契約の相手方：佐賀市 中島厨房設備サービス 請負金額：3,872万8,800円（含消費税） 工期：H 30.6.11～H 30.10.22	
7	みやき町教育委員会委員の任命について	
	田 中 俊 典 氏 三根校区 北 原 コズエ 氏 北茂安校区	
8	みやき町監査委員（議会選出）の選任について	
	宮原 宏典 氏 北茂安校区	

意見書（国会等へ提出）【可決】

1	陸上自衛隊目達原駐屯地所属ヘリコプター墜落に関する意見書について
2	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について

委員会の編成

下記のように委員会構成が決定しました。

みやき町勢の進展と町民福祉向上のため各議員及びそれぞれの委員会は「自覚」と「使命感」を持って町政推進に取り組みます。

総務文教常任委員会	産業建設常任委員会	民生福祉常任委員会	議会運営委員会
松信 彰文(委員長)	牟田 秀文(委員長)	田中 俊彦(委員長)	大石 安弘(委員長)
益田 清(副委員長)	本村 鶴夫(副委員長)	大石 安弘(副委員長)	古賀 通(副委員長)
田上 幸男	平野 達矢	中尾 純子	田上 幸男
目野さとみ	古賀 秀實	古賀 通	岡 友清
岡 友清(副議長)	岡 広明	宮原 宏典	本村 鶴夫
園田 邦広(議長)			岡 広明

定住対策特別委員会	ふるさと寄附金事業特別委員会	議会広報編集委員会
古賀 通(委員長)	岡 広明(委員長)	松信 彰文(委員長)
平野 達矢(副委員長)	益田 清(副委員長)	田中 俊彦(副委員長)
目野さとみ	田上 幸男	目野さとみ
田中 俊彦	本村 鶴夫	本村 鶴夫
牟田 秀文	中尾 純子	中尾 純子
松信 彰文	大石 安弘	古賀 秀實



一般質問 10人

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について町と政策討論するものです。

質問事項は事前に通告し、質問者は60分間の持ち時間内で質問します。

平成30年第2回定例会の一般質問は10人が行いました。町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。

なお、これまで議場が遠く、傍聴できなかった方でも、各庁舎、こすもす館設置のテレビで議会中継が視聴できますので是非ご利用ください。

また、スマートフォンやタブレット端末でもインターネット議会中継を視聴することができます。みやき町ホームページの「みやき町議会インターネット中継」をご覧ください。

現在、ホームページから録画映像をご覧いただけます。

町ホームページ <http://www.town.miyaki.lg.jp>

町政を問う



(掲載は登壇順)

番号	議員
1	目野 さとみ
2	田中 俊彦
3	古賀 通
4	本村 鶴夫
5	益田 清
6	岡 広明
7	松 信彰文
8	中尾 純子
9	古賀 秀實
10	平野 達矢

目野さとみ議員

出産・子育てに役立つ電子母子手帳アプリの導入ができないか

答 母子手帳アプリ導入の検討を開始した



問 出産・子育てに役立つ情報発信として、本町はどのような取り組みをされてきたか。

答 本町における情報発信は、町のホームページ・広報みやき・カレンダーやチラシ・回覧板・情報誌を活用し、できるだけ多くの住民に認知していただけるよう取り組みをしている。また、妊娠届、母子健康手帳の交付、妊婦健診票の配布、2カ

月児相談時等に必要ないかなる情報を提供している。



問 母子手帳アプリについては、既に唐津市が導入されている。本町も妊娠期、子育て期の適切な子育て情報や、みやき町の健診情報を常時入手できたり、予防接種の自己管理などができるアプリを導入

できないか。

できないか。

てこられた妊婦さんの推移を伺う。

に、保健師が、接種方法・時期・注意事項等を説明し、保護者と一緒に確認の上、時期が迫っている予防接種から勧奨を行い、備考欄に目安となる時期等を記載し、再度説明を行っている。接種率については、BCG 84・5%、MRワチン第一期94・6%、第二期99・4%、2種混合89・8%となっている。

きる様式を導入できないか。

答 全国で、約150の自治体が母子手帳アプリを導入しており、当然、検討すべきと思われる。民間業者と担当職員を含めて検討を開始した。子育て支援のための母子手帳アプリだけでなく、もっとさまざまな子育てニーズに対応できないか、一緒に検討しよう。

答 母子手帳の交付数は、平成25年度164件、平成29年度193件と、年々増加の傾向にあり、転入された妊婦さんは、平成25年度20名、平成29年度27名で、こちらも比例して増加傾向に推移している。このことについては、子育て・子育ての環境の充実に向けた取り組みの成果ではないかと考える。

問 数年前から予防接種の種類が増えている。任意のものを除いても、3歳まで8種類23回の接種が必要である。本町は、保護者に対して、予防接種について、どのように説明、記録しているか、また、接種率を伺う。

答 母子健康手帳の役割及び全国一律の省令様式の意義を考えれば望ましくない事と、コストが2倍かかることを考慮すると、様式を変更する予定はない。

母子手帳について



問 本町は、定住促進事業として、細やかな子育て支援をされているが、過去の母子手帳の交付件数と、転入

答 2カ月児相談時

問 保健師・母子保健推進員さんが、保護者の一人ひとりに、寄り添い丁寧に説明されている結果で、すばらしい接種率である。では、更なる支援として、予防接種の予定日と予定日の目安などが記入で

ワクチンの種類 Vaccine	予定年月日 Y/M/D (推定年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician
	接種年月日 Y/M/D		
ヒブ (インフルエンザ菌b型) Haemophilus influenzae type b	1回	予定日 (生後2か月から)	
	2回	予定日 (1回目から27日以上あけて)	
	3回	予定日 (2回目から27日以上あけて)	

予定日が記入できる他自治体の母子健康手帳

田中 俊彦 議員

子どもたちを守る安全・安心の強化策に通学路などへ防犯カメラ設置を

答 関係機関と調査研究などを行い通学路など必要箇所への設置を検討する



問 5月新潟県内の女子児童が犠牲となる痛ましい事件が起こった。佐賀県警によると、昨年1年間で県内の子どもや女性に対する声かけ事案は116件と増加傾向。防犯活動への取り組み強化が必要と考え質問する。

① スクールサポーター活動者の減少対策
② 防犯カメラ設置への取り組み

答 ① 発足から10年以上が経過し加入者の高齢化などで減少傾向にある。今後も教育委員会便りや町広報紙などで活用し、また各種団体に活動目的や内容など説明し加入促進を図る。

② 提案の防犯カメラは現在、公共施設内での犯罪防止を目的に、庁舎・学校・児童クラブ・社会教育施設など88基設置し監視を行っている。一定の成果を上げていることから今後、学校・PTAなど関係機関と調査、協

議を行い通学路など防犯上必要な箇所への設置について検討する。また、通学路での防犯対策として注意喚起や抑止を図る看板設置の準備をしている。



犯罪防止に効果がある防犯カメラ

小・中学生の自転車への任意保険加入について

問 全国的に自転車が増加している。また、小学生が加害者となった自転車事故の補償が約1億円という判例も

ある。自転車の安全運転指導や点検整備に加え、小・中学生が使用する自転車の任意保険加入が必要と考え質問する。

① 町内の小・中学生の自転車利用者数及び事故状況被害者・加害者別
② 町内の小・中学生自転車利用者へ対人・対物任意保険加入へ補助を

答 ① 3校区の小学生で日常の自転車利用は約91%の1122人、中学生では通学を含め約99%の589人。過去3年間の事故は小学生で加害事故0件、被害事故8件、中学生で加害事故3件、被害事故15件だがいずれも大事には至っていない。

② 中学校では年度当初に、PTA連合会の小・中学総合保障制度を案内し加入を奨励してい

る。加入について正確な把握はできていないが3中学校全体で約30%未満と考える。また保護者の自動車保険の特約加入など全体的な確認はできていない。なお基本的に保険料は保護者負担と考えるが、提案の保険加入料の補助については今後、先進事例などを参考に検討する。

保育所の待機児童対策について

問 みやき町は定住対策事業に取り組んだ結果、5年連続転入超過という嬉しい成果が出ている。一方0〜2歳児の待機児童が発生している。待機児童対策などについて質問する。

① 今後の定住対策への取り組み
② 保育所の待機児童対策

答 定住対策事業は平成24年から取り組み、現在まで官民連携による住宅開発は開発中を含め約200戸、定住促進住宅は子育て世帯を主とし、約160戸となっている。

① 今後の住宅政策は、校区別で中原約80区画、北茂安約100区画、三根約20区画程度の整備を見込んでいく。

② 早急な対策として本年度中に小規模保育施設整備に取り組み、8月に三根みどり保育園19名、11月に風の子保育園19名の計38名の受入枠を確保予定。また来年4月にさくらの杜保育園増築による50名の定員数が確保できる見込みである。



古賀 通議員

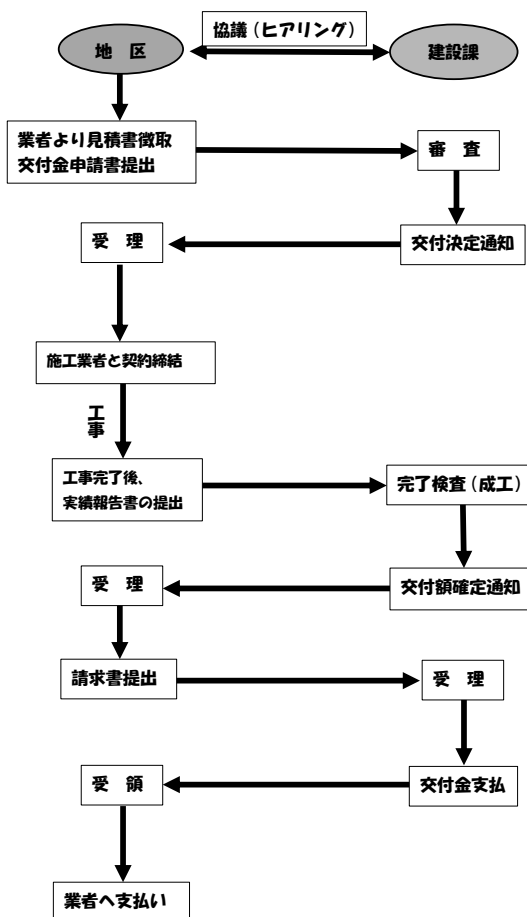
町内57自治区に副区長制度を導入したらどうか

答 現在27区が副区長等の役職名で職を設けてあるが、非常勤特別職としての副区長の設置は考えていない



問 町内9657世帯への行政サービスを広報やチラシ配り、また、役場との意見の調整など多岐多様に複雑化している。今回ふるさと寄附金活用により道路・水路整備工事を見積もりから施工・完成までの行程を担当するようになった。日ごろ多忙な上に仕事が増えるとの意見があり副区長制を置いて円滑に運営さ

(道路水路整備) ふるさと寄附金活用事業交付金フロー



答 現在27区で副区長を置いてあるがあくまで任意であり町規則に

れている自治区がある。ふるさと寄附金事業の件は道路水路整備で要望されていた245件、概算事業費は32億8百万円になる。この

事業を推進するために寄附金の活用と工事評価ランクでC、D、Eランクについて上限700万円までの工事を各區で発注から工事完了まで実施してもら

う計画、この事については区長と個別にヒアリングをして54地區が実施すると回答、町内土木業者C級D級にも説明して協力を求めた。区長の皆さんには申請手続きから完了まで手数料をかけることに

なりご協力をお願いする。

安全安心をサポートする防犯カメラの設置

問 みやき町の活性化には定住促進や就業の場を設けて交流人口が増えることが肝要である。一方、それに伴う事故事件は増加すると予想されるが事件の件数と地域別の特徴、特に防犯灯や防犯カメラが犯罪抑止に効果を発揮しているらしいが町内の防犯カメラの設置状況はどのようなになっているか。

答 防犯灯は3091基・防犯カメラは88基設置している。庁舎や学校児童クラブ・体育館・公園などに設置している。

交通事故と窃盗犯件数一覧表

	29年	中原区	北茂安区	三根区	計
交通事故		63	101	59	223
(負傷)		86	122	84	292
窃盗		46	34	13	93



防犯カメラ

本村 鶴夫議員

ふるさと納税を活用し、商工業の振興を

答 特産品や連携企業の商品により商工業の発展につなげる



問 9カ所のインターネットサイトを利用し他の市町などと連携し、平成29年度は約72億円と多くの寄附が寄せられている。

しかし、平成29年度には町の商工会会員の8業者が廃業に追い込まれている。ふるさと納税の返礼品にしても町内業者が一生懸命頑張っておられるので、町内の商工業の業者にも目を向けた政策を考えるべきである。

また、ふるさと寄附金利用事業が提案され、町民に還元されていることはいいことだと思うが、いきいき女性クラブ事業など、地区や担当役員が立替払いで行っている事業があると聞く。立替払いしなくて済むような工夫をお願いします。

答 本町で取扱いをしているふるさと寄附金の返礼品は約600品目となっている。

その中でも牛肉や米など返礼品の申込が多いが、単品では出にくいものでも連携自治体の特産品や連携企業の

商品を組み合わせることで町内商工業の発展につなげたい。

この制度を十分に活用し町内事業者が活気づくような好循環サイクルの構築を目指して努力していく。

いきいき女性クラブ推進事業は、事業費の立替払い等の負担軽減を図るため年度途中でも複数回請求することができるよう改善を行っている。

町道の中央線について

問 東津芦塚線などの中央線が消えたり消えかかっている所がある。雨降りや暗い夜道を走るときに危険という声をよく聞くが、町道等の再点検を行い、道路表示復旧を実施すべきと考えるが。

答 道路拡幅や舗装

工事などに対応し道路表示の復旧を行っている。東津芦塚線は平成32年度に舗装の打ちかえ工事を計画しており、施工時に表示を修復することとしている。

また、広域的な区間の再塗装については、年次計画を立て実施している。

地区からの要望のほか、町道等の点検結果や安全安心まちづくり町民会議のパトロール時などにより危険個所の把握に努めており、

年次計画を再検討しながら道路表示の再塗装を実施していく。

過疎化への対応について

問 みやき町に行政区は57地区あるが、自販機が1台もなくジュース1本も買えないという声を聞く。

町内に自販機がない地区はどのくらいあるのか。そういった地区に対する対策について問う。

また、過疎化に伴う買い物支援など支援策についての対応を問う。

答 職員の巡回調査の結果では7地区ほど自販機のない地区がある。

自販機の設置も経済活動の一環で採算がとれない場合は、設置されない状況で、そのような場合、設置に関し

営業補償や町直営での設置ということになれば何らかの予算措置が伴う。費用対効果も言めて検証していく必要がある。

過疎化への対応については高齢世帯や独居世帯については地域包括ケアシステムの構築の中で、電話1本で駆けつけて希望に応えるシステムを検討している。その中で買い物支援も組み込んでいければと考えている。

現在、コールセンターを担当する人員、そして、さまざまな要件に応える協力者の人材確保について検討しているところである。



益田 清議員

民生委員について、報酬制導入を

答 導入はできないが、今年度は活動費として補助金を増額した



問 民生委員はお年寄り・子ども、障がい者の見守り・相談、サロンの活動など、その役割は増大している。現に報酬を支給している町では災害時の避難支援の絆づくりなど具体的に図られている。地域福祉の要である委員の①活動補償、報酬制度の導入を、②新たに建設した東寒水団地の民生委員増員、補助員制度の設置。

答 民生委員は厚生労働大臣の委嘱であり、また、報酬支給は前提とされていない。活動費については上乗せを行い、補助金として、今年度は1048万円とされた。国の基準では66名で、町の世帯数から適正とされている。補助員制度は県内市町の現状を把握したい。

わかりにくいメディカルコミュニケーションセンター構想

問 構想は、町が国へ地域再生計画を提案、総理大臣が承認した本町の「地域創生」事業である。

計画内容は「医療法

人天神会（久留米市）との連携により、訪問介護、アロマ・鍼灸・ヨガ、整形外科、リハビリテーション、プール・温泉施設でのリハビリテーションなど統合医療を提供する」とし、概要では「センター事業は継続的な医療・介護の提供につなげ」「先進医療は久留米、継続的なケア・リハビリはみやき町というすみ分けを明らかにして整備を行う。」とされている。

5月末の総務文教常任委員会の説明では、B&G海洋センターと隣接する運動広場に、鉄筋平屋で一部2階建て複合施設を建設。建物敷地面積2500㎡。テナント入居は約12事業所、天神会のリハビリテーション300㎡と報告を受けている。

①町の後押しで大手病院が開業されるという構想か。「リハビリ」は

医療・介護費増高、保険料値上げにつながらないか。②PFI手法で事業内容がわかりにくい③運動広場、代替施設の確保は。

答 ①健康長寿で暮らす統合医療の町づくりをすすめることで大手医療機関と町で構想を図ることにした。手術などを終え、通院など、そのような方の中間的な機能回復維持を目的としたもので健康増進施設として位置付けているが、あくまでも商業ベースではない。

②いま、テナント入居者の間きとりを通じて設計に入る段階で、全体事業内容はまだ流動的だが、確定前には議会・地元地区にも報告し協議していきたい。

③運動広場は代替地が必要という判断に立った際は検討したい。建設費の財源は、こ

の目的（統合医療の提供）のために9億を超えるふるさと寄附金が寄せられており、新たな起債などの活用も含めて検討していきたい。

一部電波遮蔽ゾーンテレビ難視聴について

問 四季彩の丘みやき内に設置されている共同アンテナの件で伺う。この件は35年前、丘の上に民間の施設が建設される中テレビが映らない問題が発生。当時、原因者責任で「共同アンテナの設備の協定書」が締結され設置されたもの。町の施設に移行したが、老朽化で機器の交換とアンテナの位置変更の声が寄せられている。町の対応は。

町営住宅、共益金は家賃と一緒に徴収を

問 共益金（浄化槽使用料など）徴収については月々班長が徴収。同じ町営の尊館・トマト館などのように、家賃と合わせて徴収を。

答 指定管理者に共益金の金額を確定させ、その分を各個人の口座振り込みで支払っていただくようにしたい。

答 民間の業者が施設を所有していた際に交わされた協定書であり、

岡 広明議員

JR中原駅のバリアフリー化の充
実を急ぐべき

答 中原駅周辺を含め全体構想を検
討させていただきたい



問 国土交通省は、生
活交通サイクル戦略
として「地域公共交通
確保維持改善事業」が
平成23年～平成32年度
まで、地域等における
最適な移動手段の提供
と、駅のバリアフリー化
等移動に当たってのさま
ざまな障害を解消する補
助事業の活用がある。
国・JR・町が各々
1／3負担であり、町
の分は県から1／2補
助していただき町の費
用は少なく済む。活

ついで伺う。

答 ホーム・跨線橋の
屋根、エレベーターの
設置、駅西踏切の拡幅
を中心に要望及び協議
を今後も継続していく。

用すべきである。
定住促進、通勤・通学、
高齢者・障がい者、観
光客など利用者が増す
ためには、避けて通れ
ない課題である。
特に雨風時は駅舎は
満杯である。
エレベーター・ホーム
に屋根の設置及び老朽
化した跨線橋の改修に
ついて伺う。

コミュニティバス
高齢者や交通弱者の
「生活の足」確保を

問 交通不便地域で移
動手段を持たない町民
に対応するためルート
の改善及びバス停の増
設・新設置をし利便性
の確保と高齢化社会の
到達に対応すべきだが。
特に町営住宅を払い
下げた団地、旧民間
が開発した団地は高齢
化が進んでいる。
新たな運行経路の見
直しをすべきだが。

答 現行ルートの運行
から5年が経過してい
る。

地域の実情や住民の
ニーズも変化している
と考えている。今後、
運行ルート等の見直し
について調査等を行う
ことを検討したい。

コミュニティバスで
対応できないものは他
の交通手段で対応する
ことを検討している段
階である。

て14カ所新設した。

問 5路線の年間乗客
数、1日当たりの乗客
数は。

答 平成29年度利用者
は

- ①みやぎ中央線 8148人
 - ②三根東線 778人
 - ③三根西線 324人
 - ④中原線 1133人
 - ⑤北茂安線 468人
 - ⑥学童輸送 6161人
- 1年間合計1万701
2人で1日当たり71名
である。

問 午後4時37分ごろ
で運行が終わっている
が、夏場の時間帯は改
正できないか。

答 時間の延長は運行
事業者との協議が必要
である。

問 バス停の新設等、
地域等の要望は。
答 現在バス停10
2カ所、地区要望によ
り9カ所、病院開設等
により5カ所、合わせ



老朽化で通路が凸凹になっている跨線橋



コミュニティバス(こすもす号)

松信 彰文議員

〇〇2歳児の保育待機問題の完全解消は

答 短期・中長期の対策で解消を図る



問 先の3月議会でも〇〇2歳児の保育待機問題を質問した。その後の対策は。

答 ①短期対策

日付	内容	人数
H 29	保育士採用	12名
H 30	保育士採用	1名
6月	看護師採用	1名
H 30	三根みどり保育園増設オープン予定	19名 (0~2歳児)
H 30	風の子保育園増設オープン予定	19名 (0~2歳児)
H 31	さくらの杜保育園増設オープン予定	50名 (0~5歳児)
4月		

②中・長期対策

過去5年間の住宅新築数360戸・〇〇2歳児80人増加を基準数値として、今後10年間のシミュレーションを行った。

その結果、〇〇2歳児に対する今後10年間の必要保育士数の増員分は13名と出た。

今後はこの数を基準として推移を見守り、この問題の完全解消を図って行く。

	保育士数	受け持ち園児数
0歳児	1	3
1~2歳児	1	6
3歳児	1	20
4~5歳児	1	30

・児童福祉法保育士配置基準

町立小学校英語教育の推進

問 急激に進行する国際社会の中で幼児期からの英語教育は今後ますます重要だ。

答 国も2020年から始まる新学習指導要領の方針の中で強く指摘している。

	小学1~2年生	小学3~4年生	小学5~6年生	中学生
英語教育の現状	なし	なし	○外国語活動	○教科
2020年~(H32年~)	※	○外国語活動(必修週1コマ)	○教科(週2コマ)	○教科

ドローン利用の買物困窮者対策

問 大分県では左記の内容で大型ドローン(総重量35kg)を使用した荷物配送実験を実施し成功した。

答 国もこの事業に対して「未来投資戦略」(2017年6月)の中で2018年(平成30年)には山間部での荷物配送を実施し2020年代には都市部でも荷物配送を本格化させるための技術開発や制度対応を進めると表明した。今後の超高齢化社会に備える意味からも運行中の「福祉バス」に次ぐ高齢者対策として本町でも取り組む必要があると思うがどうか。

答 本町でも買物困窮者対策事業として高齢者のための「御用聞き事業」を計画している。

ドローン及びAI技術者に町内に移住していただき取り組んでもらうよう計画 중이다。



答 茨城県境町の小中学校の英語学習は把握している。

問 平成26年に友好交流協定を結んでいる茨城県境町の小中学校は先進的英語学習の小一貫校として全国的に有名だ。本町も子ども達の将来のため境町の英語学習の取り組みを真摯に学ぶべきと思うがどうか。

答 みやき町として先ずは2020年から実施の新学習指導要領に向けた準備を進めて行く。ご指摘の件については関係部局の中で検討して行く。

●大分県ドローン使用荷物配送実験内容

実施日	2018年(平成30年)3月9日	
場所	大分県佐伯市山間部	
荷物	食料品・飲料水等 重量約10kg	
飛行内容	高度60m・距離830m(低山越え)・最高時速40km・着陸地点3ヶ所	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○航続距離の延伸 ○積載量のアップ ○安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○飛行ルート検討(AI→プログラミング) ○航空法等の規制緩和

中尾 純子議員

コミュニティバスの路線変更は

答 調査を行うことを検討したい



問 同じ地区でも平坦な所の住宅や山間部にある住宅というように、地域が離れている地区がある。

バス停はあるが、遠すぎる。車があれば簡単に目的地まで行けるが、交通手段がない人は、歩いて遠くのバス停まで行かなくてはならない。近くにバス停があれば、目的地まで無理なく行動することができ、バスが運行され5年が経過した。路線変更はできないのか。

答

コミュニティバスの本格運行に当たっては住民へのアンケート調査を行い、住民代表・運送事業者などの関係機関で組織する「みやき町地域公共交通会議」で運行ルート及びダイヤを検討したい。

問

現在バス2台で運行しているが、どの地区も高齢化が進んでいる。買物や病院など簡単には行くことができない。

やを決定した。

現在、バス停は102カ所に124基を設置。路線変更には大幅なダイヤ改正が必要。しかし、地域の実情や住民のニーズも変化していると考えられる。見直しについては、調査等を行うことを検討したい。

難しい地域がある。住民が活動しやすくなるために、バスの増便はできないか。

答

運行バスを増便するとした場合、運行事業者との協議が必要。運行ダイヤや運行ルートなど全体的な見直しも必要。また、「みやき町地域公共交通会議」及び国土交通省九州運輸局佐賀運輸支局の承認を得ることも必要不可欠となる。増便について

問

高齢化が進んでいる中に、平坦な道ではあるが、コンビニも無ければ、自動販売機も無い。商店街まで行くにもバスが通って無いので、最悪、歩いて行くことになる。せめて自動販売機があればと要望されている。

答

また移動式スーパーマーケットが定期的に地域をきめ細やかに回れば、大分解決できると考える。

答

地域包括ケアアシス



コミュニティバスこすもす号

も、運行ルートなど見直しとあわせて調査等を行うことを検討したい。

問

高齢化が進んでいる中に、平坦な道ではあるが、コンビニも無ければ、自動販売機も無い。商店街まで行くにもバスが通って無いので、最悪、歩いて行くことになる。せめて自動販売機があればと要望されている。

答

また移動式スーパーマーケットが定期的に地域をきめ細やかに回れば、大分解決できると考える。

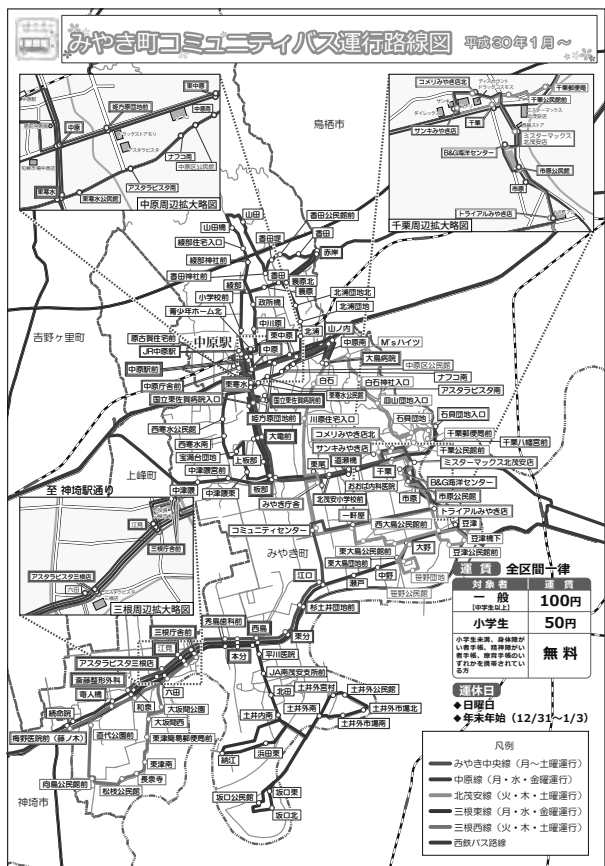
答

地域包括ケアアシス



コミュニティバスさくら号

テム構築の一環でMAGボタンという機器やスマホを活用して、買物支援など、御用聞きの一環でやっている。地域社会の活力を維持向上させるためには、住民の通院など、日常生活上不可欠な移動に加えて、文化活動やコミュニティ活動など外出の機会を図ることが重要と考えられる。町の特性に心じた地域公共交通の確保に向けて、地域包括ケアアシスの構築と合わせてきめ細やかなサービスができるよう地域包括支援センターとも連携を図りながら調査研究を行う。



古賀 秀實議員

公文書管理の重要性について

答

住民との共有財産の認識のもと、規定に基づき適正な保管に努めていく



問 地方公共団体が、意思決定や業務遂行の過程において作成する文書は、それぞれの組織における活動の記録

である。また政策の実施過程を証明する大切な記録でもある。そうした公文書は社会的にいかなる意義を有し、どのような役割を果たしているか伺う。

答 公文書の管理については、みやき町文書事務取扱規定を制定し、規定に基づき文書

管理を行っている。内容の重要度に応じ原則として、永久保存、10年、5年、3年、1年のいずれかの保存期間を設定し、関係が深い公文書を整理統合し各庁舎に保管している。

問 公文書の果たす社会的役割は、第1に業務遂行に当たって町民への説明責任を果たす際に不可欠な資料となる。第2に職員が政策立案し決定する過程で重要な参考資料となる。第3に子世代の町民及び行政にとって、参画と

協働による地域づくりや、町づくりの歴史的、文化的な資源として、

町民のためのまちづくりに尽くした証明である。よって公文書管理法第34条の規定を受けこの検討について伺う。

答 公文書の統一的管理ルールや、歴史的資料として公文書等の保存及び利用のルールを規定している。第34条の規定では必要な施策を策定し実施するよう努めるとしており地方自治体においては、努力義務とされている。

問 みやき町文書管理規定により、公文書の作成から整理、保存、廃棄に至るまで、規則が整っているとの事である。しかしながら国政において自衛隊日報隠ぺい問題、森友学園文書改ざん等日本の行政の信頼を根底から覆す重大な問題である。この文書規定自体が行政側の都合で作られた規定であり、行政側の都合の良い判断で廃棄される恐れもあるとい

う事である。住民の意思を反映した文書管理を行う重要性としての条例制定について伺う。

答 法的なものでコンプライアンス上の問題等もあり、上部機関等々の指導を受けながら大切な重要な問題であるため検討していく。

ハラスメント防止策

問 自治体の調査によると、ハラスメント対策が進む一方、依然として5人に1人が被害に遭っている。ただ、被害に遭っているが何もしなかったという意見がら割を占め、見て見ぬ振りをする状況が続いているとの事である。そこで我が町の対策として、①被害への人事対応について。②ハラスメントの見分け方。③管理者研修につ

いて伺う。

答 ①職員の就業環境が害されることのないよう対策を講じる。いかなるハラスメントも見逃さず必要な体制を検討していく。②日ごろからの職員間のコミュニケーションの充実を図る。③研修により自己判断の見直しや職場での発生の有無、対応策効果を上げるため、全職員や議員の皆様も知識を深めていく必要がある。

問 事前対策、アンケートの実施、相談窓口の設置等防止策について伺う。

答 最近の報道等、国の関係職員、また私達首長でも問題になっている。今後のハラスメント防止に向けての相談窓口等含めた中で対策をしていく。



公文書保存の状況

平野 達矢議員

中学校の部活動の現状と対応

答 先生・保護者・生徒が本音で話し合い、今後のあり方を考える必要がある



問 顧問の先生は放課後時間が無い。専門のスポーツ・文化をやっている自信が無い。しかし顧問にならなければならぬ。生徒は全員部活だが好みの部が無い。仕方なく他の部に入部しても練習したくない。実力が発揮できない。負の連鎖でいじめ、ハラスメント、体罰につながる。保護者は、試合の応援、送迎、車の運転未熟、仕事とかぶ

る等でなかなか参加できない。物心両面の負担がのしかかる。こういう実態があるのではないかと思う。そこで次の点について伺う。

- ① 平日の活動時間。
- ② 休業日、日曜祭日の活動時間。
- ③ 保護者の随行の実態は。
- ④ 送迎時の事故等の対応、又は規定はどのようになっているか。
- ⑤ 身体発達中の中学生の体力酷使による、発達障害はないか、調査等された事はあるのか。

答 ① 平日は2時間

程度。② 休日の場合は3時間程度で活動するよう指導している。

③ 部活動での遠征、遠方での大会や練習試合のときは保護者が交代で車を出して送迎されている。④ 事故についてはその対応に文書で交わしているところもある。移動手段等については、今後検討していきたい。⑤ 身体上の障害については調査していないが、顧問の方で十分に対応するよう指導している。

部活動指導員の導入について

問 学校教育法に基づく部活動指導員を今年度から配置する予算が計上された。どのような形での配置になるのか伺う。

答 地方公務員法に定める特別職の非常勤職

員として、技術指導、練習、大会、発表、生徒の引率や保護者との連絡や生徒指導の職務を行う。みやき町は、指導員6名を登録、中原中学校の野球部と卓球部、北茂安中学校の剣道部と野球部、女子バレー部、三根中学校の剣道部に配置を予定している。

民間戸建住宅空き家、民間集合賃貸住宅の空き室対策について

問 定住促進の名のもとに平成26年の苺館を皮切りにPFIを利用した住宅整備等で人口維持対策をやってきたが、その影響で、民間の空き家、賃貸住宅の空き室が増えたのではないかと思う。どれほどの影響があったのか、調査をされたのか、また影響を受けた

とすれば、民間賃貸住宅（アパート）にリフォーム助成等する考えはあるのか伺う。

答 空き家対策につ

いては県内でもいち早く取り組み先進的な自治体となっている。今後も安全・安心のまちづくりのため、危険空き家の除去に取り組みながら、加えて空き家の利活用について今後は積極的に取り組んでいきたい。居住中の段階から周知・啓発を行い、今後の利活用の相談ができるような環境を整えていきたい。民間アパートの影響を配慮しながら、需要と供給のバランスを考慮し定住促進を進めていきたい。なお空き室の調査については実施していない。民間の不動産会社の調査によると平成28年3月1日現在のデータで空き室率は

県圃土地改良区の合併について

問 米価の低迷、農業経営者の高齢化等農業を取り巻く環境は厳しさを増している。そうした中、農家負担軽減のため、県圃土地改良区の合併を急ぐべきだと思うが、時期を明確にしていただきたい。

答 受益者負担軽減及び町との連携を図るため残る北茂安土地改良区にも、三根庁舎で合同事務をぜひともしていただきたい。ご理解いただくよう努力したい。



鳥の目・虫の目リレーコラム①

梅雨明け

梅雨とは、中国から「梅雨」として伝わり、江戸時代頃から「つゆ」と呼ばれるようになったと言われています。梅雨にはなぜ「梅」がつかわれるのか、これは梅の実が熟す頃になることからという説が一般的です。

「梅雨」が明ければよいよ夏本番、熱中症などにかからないように体調管理に気を付け、また、梅雨から夏にかけて食中毒も発生する時期でもあります。生ものはできるだけ避け加熱したものを食するようこころがけ厳しい夏を元気に乗り切っていきましょう。

みやき町は平成27年に「健康長寿のまち」宣言を行い、各地区において健康保持・増進のため、さまざまな事業に取り組んでいます。子どもから大人まですべての町民が生涯にわたり、

いきいきと健やかで幸せに暮らせることを望んでいます。

また、平成33年4月には「メデイカルコミュニティセンター」の建設が予定されています。

このセンターは高齢化の進行にともない運動習慣のない人や食生活が乱れている人が多くなっていることから生活習慣病の予防を行う統合医療を中心にした①訪問介護②アロマ・鍼灸・ヨガ③整形外科④リハビリテーション⑤歩行用プールなどの複合施設となります。

現在この施設に係る特定事業の選定が行われており、議会としても「健康長寿のまち」宣言にふさわしい、医療革命の先進地となるよう執行部と全力で取り組みでまいります。

議長 園田 邦広

平成 30 年度 行政視察受入状況 紹介

No.	視察日	議会名（委員会名）	人数	視察研修内容
1	4月27日	佐賀県太良町議会 経済建設常任委員会	6人	PFI戸建分譲住宅について
2	5月21日	茨城県境町議会 教育福祉常任委員会	9人	教育行政について
3	7月3日	北海道美幌町議会 総務文教厚生常任委員会	8人	子育て支援施策について
4	7月6日	宮崎県川南町議会 人口問題対策調査特別委員会	15人	ふるさと寄附金まちづくり 利活用事業について
5	7月19日	宮城県大衡村議会 総務民生常任委員会	9人	子育て支援について



地域おこし協力隊員リポート②

地域おこし協力隊とは

◆人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力を活動を行ってほしい、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。

◆隊員は、一定期間、地域に居住して、地域おこしの支援や、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み。

◆活動期間：概ね1年以上3年以下

佐賀県の地域おこし協力隊として活動させていただいております原です。

早いもので今年の7月には、みやき町に移住して1年になります。私なりに1年を通して、みやき町がどんな所か、段々と知ることができました。まず1つ目は、人が温かい事です。何かあった時に、まるで自分の身内の事のように心配をしてくれたり、「これ食べんね」と野菜やお米を下さったりします。そして2つ目は、老若男女問わず元気な方が多い事です！「健幸長寿のまち」の名にふさわしい方々ばかりで、私も日々、パワーをいた



原 さゆり

だいています。そんな元気な方々と、今年度は、何かコラボして一緒にできたら良いなと考えています。

また、今年度から、みやき町でも地域おこし協力隊の受け入れを開始し、3名の方が着任されています。

そして、みやき町の協力隊と、7月11日に、上勝町で町おこしのスペシャリストである大西正泰さんを招いて、みやき町の今後を語り合う会を開催しました。三根にある古民家で、大西さんを囲みながら楽しくまちづくりの話で盛り上がりました。

編集委員会の目(2)

「介護」と「防災・減災」アンケート

私は今「介護」「防災・減災」のテーマで訪問・調査アンケートを行っております。2025年には団塊の世代が全員75歳を超えるため、医療や介護などの需要が急増するとみられ、とりわけ認知症を持つ高齢者への対応は大きな課題になっていきます。

アンケートでは、介護施設や事業者とあった介護従事者について「介護従事者に加え、サービスを利用する人やその家族、まだ利用していない人の声にも耳を傾けています。」

「将来介護が必要になった時に一番困る事は？」の問いに、「自分が認知症になった時」が一番多く、また

化するため、地域の危険箇所や行政に求めたい対策などを聞いております。「危険で改善が必要だと思う場所は？」の問いに具体的な箇所も記入していただきました。

- ・通学道の歩道が無く、すぐ横は側溝でいつも危険と感じる。
- ・ガードレールが無い所、草が茂っている所、大雨の時に冠水する場所がある。
- ・避難場所が遠く高層のため心配
- ・広い防災センターが必要では
- 等々、いろんな意見を聞かせて頂きました。

これからも、現場のニーズを直接つかみ、町民の皆様の実感に根差した新たな政策づくりに生かしてまいります。

編集委員

目野さとみ

田植え

町内農家の田植え作業は6月下旬に無事終了したようです。水面に映える早苗は郷土の原風景として私達を癒してくれませう。今年も「豊穡の秋」を共に祈りましょう。

今年度の作付概況は左表のとおりです。

	H30年度	H29年度
水田面積 (ha)	1,890	1,890
作付面積 (ha)	1,147	1,153
転作率 (%)	39.3	39.0
予想収量 (t)	6,194	6,192
反収 (kg)	540/10a	537/10a
作付面積内訳 (H30年度)		
さがびより	379ha	33%
ひのひかり	479ha	42%
その他	289ha	25%



千栗土居公園 蓮生溜池

6月議会で千栗土居公園整備工事が計上されました。

千栗土居公園とその南側の蓮生溜池の一部を一体的に町営公園として整備するものです。成富兵庫茂安公の歴史的遺産である千栗土居と古代のロマンを秘めた二千年蓮と舞妃蓮の優美な花々がこの公園の「売り」です。

今後この公園が魅力と人気を兼ね備えた立派な公園に育っていく事を願っています。



蛸(ホタル)

5月22日、中原校区香田地区とリサイクルプラザ横のホタル公園でホタル観賞ツアーが開催されました。時に、香田地区では多くのホタルが飛び交い「たくさんホタルが見られて嬉しい。みやき町は環境が良いんですね」との参加者の声も多く聞かれました。

当日はNHK佐賀の取材も入り翌日の昼・夕・夜の3回放映されました。

今後、環境浄化を一層進め町内全域で乱舞するホタルを見たいものです。



斉魚(エツ)

昔々、弘法大師が九州行脚の折、筑後川の下流で対岸への渡りに困っていた時貧しい漁師に助けってもらったそうです。

お礼に大師は葦の葉を一枚手折り川に投げたところその葦の葉がエツとなり漁師はエツのお蔭で豊かになったという伝説が残っています。

「広辞苑」には斉魚(エツ)はカタクチイワシ科の海産の硬骨魚。国内では有明海及び周辺の河川の特産と記されています。



告知板

「第6回みやき町中学生議会」開催のお知らせ。

日時	場所	参加者
8月7日(火) 13時30分〜	中原庁舎議場	町立3中学校 2年生12名

町民の皆様の傍聴をぜひお願いします！



◎広報編集委員会

委員長 松信 彰文
副委員長 田中 俊彦
委員 古賀 秀實
委員 中尾 純子
委員 本村 鶴夫
委員 目野さとみ